

活動実績報告書

平成28年 1月 5日

登録番号 2015859

氏 名 白濱 正明

1. 活動状況

平成 25年 4月 ~ 平成 27年 12月

(記載事項)

・ 活動の概要

森林・林業の再生、林業の成長産業化を進めるには、豊富な森林資源を将来を見据えて計画的に循環利用することが重要です。このため、素材の生産販売について長年取り組んできたことは、引いては林業の成長産業化を実現し、山村地域に産業と雇用を生み出し、地域振興に資するものと考えことから、球磨地域における木材の安定的・効率的な供給体制の整備について合意形成を図りつつ具体的な取り組みを実施している。

・ 当該活動を挙げた理由

森林の管理経営に欠かせない間伐・主伐により生産された素材が、どのような流通経路を辿りどのように利用されているのかを知り、木材流通の効果的なシステムを選択することは、川上の生産性を上げ、森林管理経営を持続的に行うために必要な技術と知見であるとする。

同じように川上の生産現場のみならず、川中・川下の販売・流通現場の実態を理解して、地域の森林・林業を地域の森林整備の将来像や望ましい姿を念頭に公正・中立的な指導・助言することは、森林総合監理士としての活動に関連しているとする。

・ 当該活動における、あなたの立場と役割

木材の安定供給体制を整備するためには、川上の生産現場のみならず、川中・川下の販売・流通現場の実態を理解する必要があることから、各立場に立って助言・指導を行い、中立的かつ公平・公正な立場での行動が求められているところ。

安定供給は、川上、川中、川下の関係者の密接な連携の下、はじめて達成されることから、関係者相互の信頼関係を構築できるように取組む必要がある。

・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

素材生産者の生産能力に差があり、需用者の求める供給量、樹種、品質、規格(長級、径級範囲、曲がり等)に沿った供給にならないと安定供給は実現しないことから、川上側は有利で安定した販売を実現すること、川中、川下側は安定的に原料が入手でき製品の計画的な生産・販売を実現することによりWinWinの関係を構築することが出来き、そのためには、様々な形での検討会等を通じた合意形成を構築することが課題。

・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

平成27年9月30日に人吉市大畑国有林素材生産現場において、供給者、素材生産者、需要者、県市町村林担当者等を集めて採材検討会を実施。

実施するにあたり、これまでも同様に実施してきた検討会等について、アンケート調査を実施し、その結果の分析を行い(参加者が求めているもの、期待するもの等)需要動向を反映した検討会を実施。

検討会の実施については、スギ・ヒノキの試供木(全幹材)を生産者(供給者も含む)、需要者(製材業等)、需要者(市場等)に分かれて採材を行い、その後ディスカッションを実施したところ様々な意見が出たことから、実際にチェーンソーにより造材を行った結果、考え方や事実の検証ができたため、意見の集約と合意形成のが図ることが出来た。

また、県市町村の担当者への、有利採材の目的、国有林材の安定供給システムの目的等民有林への技術支援・提案を行った。

今回の採材検討会を企画・実施するにあたり、PDCA サイクルを活用して事前のアンケート調査結果を踏まえて検討会を実施したことから、事前と実施後において、理解度は94%から97%で役立度は63%から93%に、満足度は69%から96%と飛躍的に増加したことは、川上、川中、川下各々の信頼関係につながったと考える。

参加した県市町村担当者からシステム販売についてより詳しい説明の要望があったことから民有林への技術支援効果も高まったと考える。

今回の参加者の中には、大手の製材所、国産材にシフトした工務店、SGEC材を主体とした工務を協定している市場等からの参加があったため現在のニーズのさらなる把握も出来たことから、国産材の利用拡大に繋がると考えるので参加者を拡充する検討の必要もあると考える。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

2. 研修の受講状況

研修名 林業専用道研修 平成23年11月
(実施主体) 九州森林管理局

研修名 技術者育成研修 中央研修 平成26年7月
(実施主体) 林野庁

研修名 技術者育成研修 九州ブロック 平成26年9月
(実施主体) 林野庁 九州森林管理局

研修名 技術者育成研修 実践研修 平成26年10月
(実施主体) 九州森林管理局

研修名 森林総合監理士フォローアップ研修(作業システム) 平成27年11月
(実施主体) 林野庁 森林技術総合研修所

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

平成26年度 准フォレスターフォローアップセミナー(九州森林管理局)にて、マルチコプターを活用した森林概況調査について発表。

平成27年度 フォレスター等活動推進会議参加

注2: 2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。